

## 「肌身をふれ合わせる体験」が

### 子どもを育てる

梅雨空の下、夏草が気持ちよさそうに青々と生い茂っています。春先、わずかな力でも押しつぶされそうな弱々しかった草たちが、背丈を伸ばし、茎を太らせ、葉を大きくし、盛夏に備えて準備を整えているかのようです。

じっくりと見てみますと、草たちはきちんと自己の成長に適した場所を見つけ、整然と他と協調しながら群落を形づくって暮らしていることが分かります。もちろん、自然界でするので強弱の関係はありますが、お互いの肌身をふれ合わせながら自らの成長する場所を確保しているかのように見えます。

「肌身をふれ合わせる」、言い換えればなま身となま身が「ふれ合う・ぶつかり合う」ともいえるのでしょうか。当然、そこには好ましい関係だけではなく、好ましくない関係も発生します。好ましい関係だけならば何も問題はないのですが、好ましくない関係に遭遇したときの身の処し方、「生きぬくための知恵」を身に付けることが生存のカギとなります。

例えば、ヨモギの大きな群落の隙間に入り込み、自らも背を高くして成長しようとするヒメジョオン、大集団をつくらずに小さな群落をいたるところに形成するヘラオオバコ、共存共栄をはかっているシロツメクサとオオバコの群落等、「肌身を触れあわせる」中で身に付けた生きぬく知恵がいたるところに見えます。

「肌身をふれ合わせる」ということは、常にゼロからのスタートではありません。好ましくない関係から始めなくてはならないことだって往々にあります。そのことを嫌だとか、理不尽だとかと、不平不満をつのらせても自分の身には何も備わりません。やはり必要なのは「肌身をふれ合わせる」体験を数多く持ち、人や物と交わり、上手いかわない事や失敗に気づくことでしか学べません。当然、そこには苦悶・苦痛が伴いますが、だからこそ自らが学び、自らを鍛え上げ、「活用の力」が備わるのです。新しい学力観に求められている資質・能力でもありません。

「子どもはただ守られて大人になるのではない。かつて子どもは守られるだけではなく、誰かを守っても育っていた。……子どもに力をつけさせるばかりで、その力を使ってどう生きるかは問わない教育をやってきたのではないか。」浜田寿美男さん(奈良女子大学教授)の言葉ですが、今、改めて私たち大人が考えたい珠玉の言葉です。

福部中学校長 木村 正人

## 「そったくのき」

生徒玄関と職員玄関の間に、今年もツバメが巣を作りました。校舎内の通路は、雨風をしのぎやすく、生徒や教職員たちが見上げる以外は、外敵もいないのでしょうか。かなり快適なマイホームのようで、他にも巣の跡がいくつか見えます。

福部中では、誰でも毎日一度は通る場所です。巣の中で小さな雛が5羽、口をいっぱいに広げて親ツバメを待っている姿を見上げては、「かわいいなあ」と笑顔になり、みんなが癒されていました。

日に日に大きくなっていった子ツバメたちが、ある日とうとう巣立ちを迎えました。それは、突然のことで、あつという間に彼らは自分の羽根で飛び立ったのでした。空っぽになった巣を見て、何となくしみりしながら、「啐啄の機」という言葉を思い出しました。

卵がふ化するとき、中からくちばしで殻を破ろうとする雛と、外から破ろうとする親鳥。そのタイミングは、早すぎても遅すぎてもいけない。絶妙の呼吸で、外の世界に飛び出す命。禅宗では、師家と弟子のはたらきが合致することを表し、教育の極意としても知られています。

世の中が豊かになり、効率やスピードが強く求められる時代に、もしかすると私たちは雛鳥の口をこじあけて、あれもこれも詰め込もうとしてはいないでしょうか？同時に生まれた5羽のツバメたちも、よく見れば成長のスピードは違います。時期をしっかりと見極めながら、自分で殻をつつき始めるまでは、焦らずに見守りたいものです。

さて、巣立ったはずの子ツバメたちですが…なんと次の日に、巣に帰っていました。タイミングが早すぎたのでしょうか？それとも、ホームシック？本当のところは、ツバメにたずねてみないとわかりませんが、窮屈そうに身を寄せ合う子ツバメたちに、姿が見えなくなっていた親ツバメが現れ、再びエサを運び始めているのでした。「啐啄の機」を見極めるのは、かくも難しいことなのでしょうか。

ツバメたちに、いろいろ教えてもらった気がした6月でした。

教諭 杉田 克己



## <2年生 働いてます（総合学習）>

6月23日（火）～25日（木）に2年生33名が福部町を中心にした13事業所にお世話になって、職場体験をいたしました。また、30日には福部小3年生と学校農園でらっきょう畑をし、翌日には加工をしました。多くの地域の人に支えられながら、たくさんの出会いと経験ができました。



## <スポーツでも活躍してます>

第11回となります「東部地区中学校陸上競技大会」「東部地区中学校水泳競技大会」に代表が出場し、力を発揮してくれました。学校に残った人もチーム福部としてしっかり応援できました。おもな成績は次の通りです。

### ☆東部地区中学校陸上競技大会

○第3位 1年女子 800m 鶴木麻央 ○第3位 1年男子 1500m 別所 響

### ☆東部地区中学校水泳競技大会

○第2位 男子 100m自由形（中2） 徳中晃大



6月	P T A 個別懇談
7火	P T A 個別懇談
8水	
9木	前期期末テスト（実技教科）
10金	運動会テーマ決定
11土	
12日	ソフトテニス県クラブ対抗
13月	3年実力テスト
14火	学習委員会有志読み聞かせ
15水	駅伝選手健康診断
16木	前期期末テスト発表（5教科）
17金	激励会、授業最終日
18土	県中総体1日目
19日	県中総体2日目
20月	海の日

### 夏季休業のおもな行事

（7月21日～8月24日）

7月21日（火）高校説明会1日目  
 22日（水）高校説明会2日目  
 25日（土）市中P連バレー  
 8月 2日（日）第2回資源回収  
 3日（月）1年生らっきょう植え付け  
 9日（日）県吹奏楽コンクール  
 23日（日）環境整備

### 休み明け（8月25日以降）のおもな行事

8月28日（金）前期期末テスト1日目（5教科）  
 31日（月）前期期末テスト2日目（5教科）  
 9月 6日（日）福部地区町民運動会